

開催日時	平成 26 年 10 月 24 日（金） 13：30～15：15
開催場所	釧路市役所（議場）
参加人数	15 人
出席議員	黒木 満議長 高橋一彦議員（議会運営委員長） 金安潤子議員（総務文教常任副委員長） 大澤恵介議員（経済建設常任委員） 山口光信議員（民生福祉常任委員） 畑中優周議員（石炭対策特別委員） 大島 毅議員（広報特別委員）
質疑応答の内容	<p>問：新図書館整備の報告があったが、3回の集中審査の内容と、今後どのように進めていくのか聞きたい。</p> <p>金安：1回目、2回目の審査では、市から示された4つのパターンに対する費用やメリット、デメリットを議論していたが、3回目の審査で、議員側からさらに3つのパターンが提案され7つのパターンで議論しており、民間ビル入居案の優位性に疑問が生じてきている。市民が誇れる図書館とすべきであり、次世代への負担を考慮しながら、引き続き12月定例会で議論していく。</p> <p>問：現図書館の耐震化は起債で行うことが可能であり、2年後に全額交付税措置されるため、耐震化利用していくことは可能であると思う。</p> <p>金安：貴重なご意見としてお伺いし、今後活かしていきたい。</p> <p>問：各地区会館やコミュニティセンターに図書室がある。複合的施設として会合や会議ができる図書館を各地域に分散する発想もあるのではないか。</p> <p>金安：地区会館やコミュニティセンターの図書の充実に対する意見として受けとめる。</p> <p>問：平成27年度の石炭関係の予算は12月に国で決定するのか。</p> <p>畑中：例年12月に決定する。概算要求どおり予算が決まれば、単年度ではあるが昨年と同様の事業が実施できるものと認識している。今後も石炭の重要性を国に訴えていくが、市民の皆さま</p>

んの後押しもお願いしたい。

問：新図書館民間ビル入居案は利用者にとって利用しづらい案だと思う。現図書館も借りたい書籍がワンフロアになく不便だが、さらに不便になると思う。上下階の移動にエレベーターを利用することが多くなるが、エレベーターは密室で、子どもを持つ親から不安の声を聞く。子ども達に負の遺産を残さないようにというが、一方で、子どもたちにどのような文化資産を残すのかということも課題である。

金安：貴重なご意見として受けとめる。

問：議会報告会を平日の18時開催とした理由を聞きたい。働く人は参加できないと思うが。

大島：議会報告会については、これまで日曜日に実施したこともあり、市民からの意見を聞き試行錯誤しながら開催している。働く人にも参加できるように開催曜日、時間等を検討していきたい。

問：旧日銀の跡地を市が買い取る動きがあるが、その理由を聞きたい。また、図書館に関して意見として述べるが、夕日と幣舞橋の両方が見渡せるすばらしい場所が現在の場所だと思う。

金安：旧日銀は、釧路のシンボルとして残したいという声がある。現在、コンクリート強度等の問題で取得については協議中である。

高橋：建物自体がまれな構造であり、再利用できないのかとの声がある。現在建物の調査をしているところである。

問：北大通りの街路灯はどこが管轄しているのか。夜景としてはきれいだが明るすぎると感じており、節電の取り組みをしている中で疑問を感じる。

大澤：省エネ志向が進んでいるが、一方でイルミネーションが景観や観光振興にも寄与しているものとする。街路灯に関しては、各町内会、商店街等で管理されているが、市としても補助金を交付している立場から、LEDに交換する等の取り組みも行っており、市民からの要望を総合的に考えて検討している。

高橋：電気代の軽減に向け、水銀灯からナトリウム灯やLEDな

どの電気代のかからない照明へ交換する方向で進めており、ご理解いただきたい。

問：全国で 10 万人以上の都市における人口の流出入調査において、釧路は人口の流出都市で全国 8 位であった。今後も減少に拍車がかかると言われているが、まちの将来の方向性を定めたプランはあるのか。

金安：人口減少の要因として、企業の流出や支社から営業所になり、撤退するという状況に加えて自然減もあると考える。現在、コンパクトシティ化や長期滞在事業の取り組みも行っており、少ない人口でも満足できるまちづくりが課題であると認識している。

高橋：学力の低下の問題や生活保護世帯数の増加、離婚率が高くシングルマザーが多いことや基幹産業の低迷もあって、就職問題が課題となっている。6 次産業、観光などの推進にも取り組んでいるが、なかなか現状を打開する形になっていない。

問：10 月 14 日に行った新図書館整備に係る集中審査の内容を聞きたい。傍聴した人の多くは、市の案は結論ありきであり、データの誤りなどもあって市に対して不信感を持っている。

高橋：当初、市側から中心市街地による複合施設で進めると補助金が出るので、早期整備をするにはこの方法しかないとの説明を受けた。しかし、それ以外の方法でも補助金の対象となることが分かり、現在 7 パターンの案が出されている。ようやく比較検討でき、本格的な議論がはじまると考えている。

問：人口減少に向けたまちづくりを示した具体案は市民に示されているのか。

金安：ホームページでも確認できるが、市のマスタープランの中でコンパクトシティが示されている。また、新橋大通地区においてコンパクトシティに対する動きなども紹介されている。

議長：水産業の衰退、炭鉱の閉山により生活保護世帯が急増した。地元で子どもが働く場所が少なく、やむを得ず都市圏に流出するケースが増えており、産業の立て直しが重要である。特に、釧路コールマインを失うと関連企業を含め 2000 人規模の職が

	<p>失われることになりさらに人口減少が進むことになる。漁業の立て直しやバルク港湾整備で産業の活性化を図るなどしているが、一朝一夕では効果が出ない状況である。図書館整備では理事者側から 12 月定例会で委員会の意見を踏まえた形で基本的な考え方の素案を提案してもらいたいとの話があった。</p> <p>問：新図書館整備に関し、拙速に進めず時間をかけるべきであり、まずは耐震化を起債で行うことが先決である。賃貸の費用には、土地代、管理費、固定資産税などに利息をかけて算出されているので膨大な市民負担となると思うが、足寄町では公共施設の長期的賃貸の事例がある。また、要望だが、公立大学の図書館がすばらしいので参考にしてほしい。また、自己啓発機能などソフト面も考えてほしい。</p> <p>高橋：図書館問題に関しては多くの傍聴があり大変注目されている。今の話も議論になる部分だと思う。なるべく市民負担を軽く、文化施設として相応しい形で進めていけるよう議論していくのでご理解いただきたい。</p> <p>問：街路灯が間引きされているが、市街地の防犯対策として特に学校付近に関して配慮してほしい。</p> <p>大澤：学校や公共施設の周辺で防犯上問題のないように検討したい。住宅街の街路灯については、町内会で管理されており、予算の問題もあるため、加入率向上に向けて我々からも協力をお願いしたい。</p> <p>問：男女平等参画センターについて、女性が市役所で手続きすることが増えてきている。女性が抱えるさまざまな問題をワンストップで受け止めるのがセンターの役割だと考えるので検討してもらいたい。</p> <p>金安：良いセンターにしていきたいと思っている。女性の悩みのワンストップ化は重要な役割だと考えているので、今後ともご意見をいただきたい。</p>
<p>議会への 要望・意見</p>	<p>問：現図書館に関して、災害はいつ来るかわからないため、耐震化して、中身を充実させてきれいにしてもらいたい。新図書館</p>

	<p>整備に目が行き、現図書館がきちっと管理されていないので、議会でも監視してもらいたい。</p> <p>金安：現図書館についてももしっかり監視していきたい。</p>
市への 要望・意見	<p>問：中学校の制服が4万から5万円ほどする。低所得者層の方からの話では、買うのが大変であり、指定されたTシャツが1着しか買えず洗い替えがない生徒がいるのが実情である。制服の基準を見直してほしい。</p> <p>金安：制服の件は委員会においても話をしていきたい。</p>